（本號ハ四頁）　（明治二十五年九月七日　第三千四百四十一號　水曜日）　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

新内閣員の石版肖像

本社は新内閣員たる十大臣及び樞密院議長の肖像を石版に印刷し美麗なる附錄となし來る十一日の時事新報に添へて讀者に配布す

當日の時事新報は臨時に紙數を增刷する筈に付來る九日までに廣告の申込あるべし此の期日に後れて申込みありたる廣告は止むを得ず謝絶するみとあるべし

時事新報

地方官の處分と法官の始末

新内閣は組織匆々にして未だ施政上の方針を窺ふに由なしと雖も近來の事實に現はれたる地方官の處分と法官の始末との如きは其一端として見る可きものゝ如し扨て聊か此二事に就て所見を述べんに此程五六の府縣知事に交迭の沙汰ありたるに付ては或は所謂民黨の説を容れて撰擧の干渉に盡力したる輩を罰したるなりなども唱ふるものさへあり我輩は政府の眞意果して然るや否やを知らざれども抑も從來の地方官には老朽の老官少からず其能を問へば維新の功勞と白首の精神とに過ぎずして地方今日の治務に適せざるのみか中央政府に在る新進の官吏と相對しても釣合を成さゞるの姿なきに非ず彼の撰擧干渉の如き政府當局の違に於ても多少の意はなきにしも非ざりしとならんなれども畢竟立憲政治の精神に通ぜずして政府に反對するものをば朝敵國賊の類と心得る地方の老官輩が漫に其意を迎へて之を增大したるものにあらざれば撰擧干渉の失策と云はんよりは寧ろ平生の不心得を其一事に表したるものと認めざるを得ず左れば今日に當り干渉云々を以て地方官を進退するが如きは抑も亦末にして若しも此種の老輩をして永く其地位に在らしむるときは假令ひ撰擧騒動の如き出來事なしと雖も動もすれば人民との摩擦を引起して政府の人望を損ずるの事動は常に免る可らず故に我輩の所見を以てすれば政府が今回五六の府縣知事を更迭せしめたるは新内閣に於ける内政整理の第一着手として取敢へず民心の折合を得ざる老朽の輩を淘汰したるものと信ぜざるを得ず若しも然らずして撰擧干渉の爲めに動陟を行ひたるものならんには政府は恰も前内閣の失策を五六の地方官に歸し民黨の歎心を買はんとするものに似て小兒の戲を戲むるの譏を免る可らざればなり聞く所に據れば更迭も略ぼ終りたるに付き内務大臣は近々各地方官を召集して訓示し諸閣する所ある可しと云ふ當局者は既に五六の更迭を以て足れりとするか將た召集の上、親しく其人物を鑑識して更に大に及落を判せんとするか其何れかは知る可らずと雖も何分にも今日まで僅に五六の更迭を以て滿足す可きに非ず今の老輩の地方官は何れも多年在職して其成蹟は既に明白なれば日新進歩の勢に從ひ之を淘汰するの要用を悟りたる限りは今度の機會に乘じ續續更迭を行ふて地方治務の面目を一新するみと肝要なる可し然らざれば新内閣の施政も矢張り情實の沙汰を免れずして曩きに行ふたる更迭の如きも亦是れ情實の一例として視る可きのみ當局者の爲めに取らざる所なり又法官の始末は過般以來久しく其處分に困却したる所謂弄花事件の餘波も新任大臣の決斷にて一先づ鎮制したるが如くなれども抑も司法部内に於ては不體裁を生じたる其原因を尋ぬれば我輩の曾て述べたる如く法官の制度宜しきを得ず如何なる事を働くも法に觸れざる限りは免職の患なきと同時に進級の法頗る窮屈にして先輩の者が失策して職を退くに非ざれば後進の者に立身の望なき等の事情よりして部内に黨派を生じ隨て互に相擯排するの弊を見るものに外ならざれば根底より其弊を一掃せんとするには法官終身の制度を改めざる可らず即ち裁判所構成法の改正なり元來構成法は新法典實施の必要より發布したるものなれども今日より見れば終身の制度を外にして不都合の點頗る少なからざるのみか其新法典さへも斷行延期共に未だ判然せずして世間の疑惑一方ならざるものあれば司法の當局者たるものは單に法官の始末のみを以て足れりとせず更に進んで構成法の改正より法典の處分に至るまで一刀兩斷の決斷を以て其方針を明にするみと肝要なる可し我輩は右兩事件の結果如何を見て當局者の技倆を知り併せて新内閣の方針を窺はんとするものなり

雜報

○鐵道會社の實況

日本鐵道會社（承前）

前途の方針　會社は既に全線完通したるに由り鐵道廳との關係を離れて獨立の經業を爲し小野美眞氏鐵道長より進みて社長となり專ら守成の事を務め今後は全く商賈一團の方針に出でゝ益々乘客荷主の便利を圖らんとせり去れば本年四月に於て株金二百萬圓の增募を議決し其内既に繳收したるもの六十萬圓あり以て上野大宮間の複線敷設を始め既に八分を出來して來月は開通の豫定なり又秋葉原構内のドックも既に八九分通りを竣工したる車輛は近頃山陽鐵道會社より百二十二輛を讓受け其一半及び機關車六臺は既に到着せり而して會社は尚ほ明後年迄に荷車五百輛機關車三十輛を新造するの計畫ありと云ふ

收益の見込　會社の利益配當は各區線に對して政府より年八朱の補給を受くるものなるが故に第一區第二區の收益如何に多くとも第三區第四區の收益八朱に足らざれば之を政府の補ふものにして通算すれば一割以上の配當を爲すみと難からず今、昨一昨兩年度に於ける會社の配當年率及び右の補給を除きたる純利益金并に其純利益を其季の異業資本に對照したる利割の年率を擧ぐれば左の如し

利益配當　純利益金

		割朱	圓	同上異業資本對照年率 割朱	圓
廿三年度	上半季	一、一	五一、二六四	一、六七七	一〇、六七七
同	下半季	一、〇	五五、三一一	〇、五六三	〇〇、五六三
廿四年度	上半季	〇、九	四四、二、六	〇、五〇一	〇〇、六五八
同	下半季	一、〇	五九二、八一六	〇、六五八	

右の如く通例一割以上の配當を爲せども實際鐵道より上る收益を異業資本に對照し見れば五分より七分の間に在り蓋し奥州不毛の地に通ずる線路の事なれば其の收入の多からざるも怪びに足らず而して右の補給も第一區は既に本年にて滿期となる由なれども該區に對しては創業以來絶えて補給を仰ぐの必要なかりしものなれば會社は其期限の切るゝに就て痛痒を感ぜざるべし第二區も亦明治二十年以來は常に入朱以上の純益ありて補給を受くるの要なし而して第三區は昨年度上半季に九萬餘圓下半季に六萬餘圓第四區は昨年度の兩季に十三萬餘圓宛、第五區は上半季に十七萬餘圓、下半季に十八萬餘圓の補給を受けたり會社營業開始後本年三月三十一日迄に政府より受けたる補給利子の總額は百九十萬五千百十三圓に上れり

右の如く會社の經濟は大に補給利子の助くる所となるものなれば其滿期後果して從前の一割以上を配當し得べきや否やは知り難き次第ながら第三區成りて第三區の收益增加著しく第四區成りて第三區の增すみと甚しき實例を以て推すれば昨年九月來全線完成して本州と北海道との連絡を通じ北海道炭礦鐵道は本年八月室蘭札幌間を開きて益々其連絡を便にし且つ官設雄氷線の落成近きにある等の事實に由りて今後全線の收益增加すべきを期するに足るべしと云へり

兩毛鐵道會社

營業の概況　兩毛鐵道は上野國桐生より下野國足利、佐野、栃木を經て日本鐵道會社第二區線の小山驛（聯絡し又桐生より大間々を經て同第一區線前橋に接續するものなり從來工事運輸諸般の事一切日本鐵道會社に依托して支線同樣の世話を受けしが本年八月其約定期限滿ちたるに付き一時は全線擧げて該社（賣却すべしとの説盛んなりしも結局獨立に決して昨今自營着手の最中なり會社は去る明治二十年四月本免狀を受けて工事に懸り二十一年十一月足利桐生間（九哩）成り二十二年十月桐生前橋間（十八哩）を開通せり前橋停車場より日本鐵道會社第一區線の内、藤分迄は二十二年十二月に成りて三年一月開業式を擧行せり線路延長五十三哩なり資本拂込總高百五十萬圓にして其内異業資本總高は車輛一切の價を併せて凡そ百四十五萬圓とす積立金は九千七百五十圓あり昨年上下兩半季に於ける營業費及び收入金との對照は左の如し

		營業費 本社經費 圓	營業收入金 圓	同一日一哩平均 圓
昨年度	上半季	四二、九二七	九一、一九九	九、八八六
同	下半季	四六、七八二	九九、一〇四	九、六八六

一昨年は同會社の利益配當上半季に五分にして下半季に四分なりしかども昨年は其收支の割合右の如くにして營業收入金の如きも一日一哩平均にて一昨年下半季は八圓三錢に止まり之を昨年下半季に比して二圓四十錢の差ある程なれば昨年は兩季共六分三厘を配當し得たり左に昨年下半季の乘客貨物數及び其賃金を揭ぐ

		乘客 人	其賃金 圓	同上一日一哩平均賃 圓
乘客	上半季	四八二、三四七	五四六四二	五二七
同	下半季	三八、六九五	二八四八九	二九八六

		貨物 噸	其賃金 圓	同上一日一哩平均賃 圓
貨物	上半季	二、九二二	二、一二一	一、一一一
同	下半季	一、一一一	一、一一一	一、〇一一

右は兩毛に於て盛況とすべき昨年度兩季の乘客貨物なるが同季間に於ける日本鐵道會社の乘客賃は一日一哩平均六圓二十一錢餘にして貨物同上五圓二錢七厘なれば貨物の收入は割合に兩毛の少きゆゑ甚し且つ之を乘客賃に比して其半ばに在るが如きは特に會社の注意すべき所なるべし

○西郷伯の一行

より一て東京（逮したる電報は今日劇場に於て政談演説

山名、新井の四氏にて雖の地なく無事閉會せ出立す

○露國とバルガリアの關係

揚場せしが尚ほ獨逸新聞る露國の陰謀は往年バルを暗殺せんとして誤てたる犯罪事件の裁判より同裁判事件は去る七月中罪に八名は十箇月より九名は無罪放免を言渡されリアの近代壓政上に頗ぶ臣カラペロフ氏等ありてれども本件は國主フエルンブロフ大臣を狙撃し謀に關係するもの多く而ルガリアの法廷に立たずよし右は當時の土耳其駐より擯察の追躡を免かりたるものなりと云ふ左國内に於ける法權の及ぶに至りたるも國境外にべき露人に對しては之を國政府が莫大の金錢を惜の毒手を假り其陰謀を遂白となり夫のミラロフ、ーマニア國及びセルビヤ嗾する所となりたる一の今回歐洲小國の駐在露せし某氏の如きも露國政内情を探ぐるが爲め千八百翌年六月一日に至る六箇月八十萬フランクに達した

○酒國

會社の前途　兩毛會社はありて相爭ふたる末鬼に獨立派とても過分の利益位は今後も得るべからざるは勿論若しの社債に滿足するは好の爲めに經費の增すみと四萬五千圓は增加して四例を以てせば尚ほ六分の後は大に社務を改良して風を立つるに於ては收入と爲せり故に會社は右に增し時刻を改めて幹線及極には支線經濟の方しと云へり而して社務に輪課を小山に設けて支配汽車課を桐生及び小山に建築課の位置は桐生の岸眞二郎氏を鞫して之を